

令和6年度 上田市立豊殿小学校 自己評価 学校関係者評価 成果と課題・改善策と向上策

学校教育目標			めざす子どもの姿				総合評価								
実 心 豊 力 か の で 育 あ 向 成 る 上 子 心 ど を も の ち					優しい言葉をかけ合える子:友だちのことを考えて話す言葉を選べる子 助け合える子:困っている友だちを自分のことのように思い協力できる子 チャレンジできる子:よりよい自分になろうと努力する子 よく考え行動にうつす子:何をしては何を言うかを考え、考えたことを行動にうつしている子		成果と課題		学校関係者				改善策・向上策		
	今年度の具体目標		A	B	C	D									
	1	優しい言葉をかけることができる力			○			・年間を通じて人権同和教育を推進していく中で、本年度は、公の場において、友だちの名前に「～くん、～さん」を付けることを取り組んだ。今後も全職員で指導のテーマを決め取り組んでいく。							
	2	助け合える力			○			・単級のため、今までの固定した人間関係があり、なかなか友だちと助け合えない児童もいる。キッズ班の活動や教師が意図的にグループ活動を設け、様々な友だちと関わる中で助け合う力を育てていく。							
	3	チャレンジしようとする力			○			・学習や学校生活の中で、子どもたちの「～したい」の声を積極的に取り上げ、学習と結び付けていくことで、自分から進んで取り組む機会を作っていく。							
4	よく考え行動にうつす力			○			自分のことだけでなく、みんなが安全に楽しめるよう考えて行動することを普段の生活から細やかに声がけしていく。								
領域	対象	評価項目	評価の観点				成果と課題	A	B	C	D				
学 校 教 育	学 び づ く り	わかる・できる工夫	・マグネットや小黒板などを使って、子どもの考えを整理したり、考えの変化がわかるようにしたりした授業ができたか。 ・学習の深まりや自己の変容が実感できるよう、まとめや振り返りの時間を確保したか。				・おおむね意識され、実践できている。 デジタル教科書が導入され、映像と音源の操作がスムーズになり、視覚教材として有効に使えた。		○			・分かりやすい授業を進めてきたが、授業が分からないままの児童もいる。基礎基本の学力を定着するためにも「eライブラリー」などのドリル学習も充実させていく。			
		探究的な学び	・子どもが語りたくなる場の設定や語る場の設定をしたか。 ・他者の考えや意見をしっかりと最後まで聞く姿を育成したか。 ・問いの解決に向けて、解決の見通しをもち、解決に向けて取り組む授業をしたか。 ・ICTを利用するなどして、個人や集団で追究(求)する授業を推進したか。				・おおむね意識され、実践できている。 話しくなる学習問題を設定することに努めてきた。5w1hの発問を意識して学習問題を設定してきた。		○			・今後も話しくなる学習問題を設定していく。 ・一人一人が活躍する場、語りあえる場をつくるために、学習の内容や目的に応じて、グループ活動、少人数、ペア学習など弾力的に学習形態を工夫する。			
		主体的に学ぶ	・体験や経験、既習などから問いをもつ場面の設定や興味・関心がもてる単元(題材)との出合せ方ができたか。 ・生活科や総合的な学習の時間を中心に、探究的な学習を行い、主体的に学ぶ力の育成に努めたか。 ・ポブラタイムを通し、自主的に学習に取り組むための力を育成したか。				・おおむね意識され、実践できている。 ・授業の始めに体を使ったり、友達とペアになったりするウォーミングアップの活動を取り入れることによって、心を開放し、主体的に参加する姿が見られた。		○			・事象との出会いから湧きあがったことを出発点に、問い立てをし、情報収集、整理・分析という流れで活動を進め、その先にさらに問いを立てて追究し続けていけるような仕掛けや教師の働きがけをしていく。			
	心 づ く り	気持ちの良い学校づくり	・気持ちよいあいさつや靴揃えを実践できるための取り組みをしたか。 ・進んでそうじに取り組めるよう、支援をしたか。 ・清掃ロッカー内や教室の整頓、ゴミ拾い、掲示物の確認など、整理整頓に努めたか。				・意識され、実践できている。 ・児童会活動を中心に、子どもたち同士で呼び掛けたり、キッズ班で声を掛け合う姿がみられた。		○			・児童数の減少に伴い、一人当たりの校内の掃除分担が広くなっており、清掃時間内に十分な掃除ができない現状がある。掃除場所の精選や掃除方法を検討していきたい。			
		宝の活用	・豊殿地域の宝である「ひと・もの・こと」との体験的な学習を充実させたか。				・各学年で地域の資源を活用した体験的な学習に積極的に取り組んだ。	○				・地域と関わるので、積極的に活用するようにする。 ・地域にある財産の掘り起こし、連携を積極的に図っていく。			
		異年齢交流	・キッズ活動、わくわくタイム、児童会等の異年齢集団の活動で、相手意識をもって、自ら進んで活動できるよう支援したか。				・意識され、実践できている。 ・児童会活動を中心に、子どもたち同士で呼び掛けたり、キッズ班で声を掛け合ったりする姿がみられた。	○				・活動の子どもの姿から、その価値や意義を見だし、職員間、職員と子ども間で共有しながら、より深い交流活動を仕組んでいきたい。			
		早期の発見・対応 継続的な支援	・アンケート、個別懇談等を通して、悩んでいる子を捉え、その子に必要なと考えられる指導や支援ができたか。 ・自己肯定感・自己有用感を涵養するための取り組みができたか。				・意識され、実践できている。 ・生徒指導主任、担任、校長、教頭がすぐに役割分担をして、迅速に対応した。		○			・スクールカウンセラーとの面談をクラス全員行ったり、相談週間以外にも担任と面談の機会を設けたりした。心の内を出せる機会をこまめに取りことができ、教室では話せないことも話すことができた。 ・学活等で名前を挙げて良い姿を伝えることに努めた。			
	体 づ く り	系統的・継続的な指導	・体みがき、食育、ネットモラル教育(メディアコントロール含)の指導を継続的に進めたか。				・おおむね意識され、実践できている。 ・定期的にメディアコントロールを行ったり、身体みがきプロジェクトに継続して取り組めたりした。		○			・メディアにふれる時間のコントロールだけで無く、ネットモラル教育もさらに必要であると感じる。学校だけでなく、家庭でも併せて行うように呼び掛けていく。 ・身体みがき体操を日常的に行い、自分の身体をコントロールできるようにする。			
		安全管理・危機管理	・多様な想定による訓練を通し、「自分の命は自分で守る」ための指導ができたか。				・意識され、実践できている。 ・日常生活の中で、危険な場面に遭遇した際には、声をかけその場で注意、指導をするよう努めることができた。		○			・避難訓練や交通安全教室だけでなく、日頃から自分の命の大切さや緊急時に適切な行動を身に付けることを継続して指導していく。			
		健康な体づくり	・子どもたちが体力を向上させるため、食事を大切にする、徒歩で登下校する、マラソンをするなどに、自主的に取り組むよう指導したか。 ・手洗い、換気等の感染予防を行うことができたか。				・おおむね意識され、実践できている。 教室内の温度調節、湿度調節、換気等に配慮することができた。 ・手洗い・換気等の感染予防に努め、予防することができた。 ・給食の食べ残しが(特にご飯や汁)減らない。		○			・健康づくりに関わる活動の意義や目的を明確にして、活動に取り組ませる。また、自分の体を健康にするために、食事の大切さを理解させると共に、健康な体づくりを探究的に進めていく活動を設定していく。 ・安全だけでなく、健康に生活していくために大切なことを話題にし、児童と話し合っていく。保護者アンケートの結果と合わせて、家庭での協力を呼びかけていく。			
学 校 運 営	連 携	保護者との連携	・学級や子どもの様子が家庭に伝わるよう取り組んだか。 ・アンケートや懇談会等を通し、子どもや家庭の様子をとらえるとともに、誠意をもって丁寧に対応することができたか。				・実践できている。 ・保護者と情報と指導や方向を共有しながら進められた。		○			・学校だより、ホームページ、学年だよりを使って子どもの様子を保護者に伝えていく。 ・アンケートや懇談会で子どもたちの理解を深めていく。			
		幼保小中連携	・スムーズな受け入れ・進学のため、幼保小中連携事業を計画・実践できたか。				・実践できている。 ・幼保との連携を図り、共有した情報を基に受け入れ体制を整えている。		○			・係や校長、教頭、特コ、担任が情報を共有できるように記録を残すことができている。今後も支援会議で得た情報を関係者に積極的に知らせ共有を図っていく。			
	研 修	綱紀粛正、セクハラ防止	・非違行為防止等の研修に自分事として参加できたか。 ・豊殿小から非違行為を出さないと、いつも意識して行動できたか。				・実践できている。 ・非違行為防止研修の充実と職員の人間関係づくりを大切にし、非違行為防止への雰囲気が出た。		○			・今後も教職員としての自覚をもち、綱紀粛正、セクハラ防止に努めていく。			
		自己研修	・自分自身の課題解決のため、日々の教材研究の実践、一人一公開に取り組めたか。 ・指導力を向上させるため、進んで研修へ参加ができたか。				・実践できている。 ・講習会や研修を通して、ICTの活用方法や実践事例、指導法の工夫などを学ぶことができた。		○			・補充を考えると研修機会がなかなか取れないため、研修に参加した職員から指示伝達を行う場を設け、研修に参加できない職員に伝えていく。			

○ 評価基準 A…達成できた B…おおむね達成できた C…やや達成できなかった D…達成できなかった

*学校運営委員の皆さんには、評価ができる範囲で評価をしていただいた。 *黄色の網かけは「課題が達成できた項目」、青色の網かけは「来年度重点的に取り組みたい項目」を表しています。